


令和元年11月15日

南陽市議会議長 高橋 弘 殿

無会派 川合 猛 

令和元年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

項 目	調 査 ・ 研 修 内 容
調査期日	令和元年11月6日(水)から 8日(金)まで 2泊3日
調査場所	①兵庫県相生市議会 ②兵庫県三木市議会
調査目的	①子育て応援施策11の鍵(その内容、成果) ②縁結び課 (課として立ち上げた経過)
調査概要	① 子育て応援施策「11の鍵」人口減少に歯止めをかけるため、子育て、定住施策に始末、結婚、出産、保育、小学校、中学校、社会人まで11の項目を作り、それぞれの分野を総合的に実施、平成23年4月1日に相生市子育て応援都市宣言をし、国に先駆けた、教育支援、定住促進の取り組みを実施、現在、出生数の維持はほぼ計画通り、社会増減数の減少幅が約半分など概ね目標を達成しているとの事、しかしまだ、20年30年先の人口を見据えての事業展開が必要として、年間3億円の事業費を使い、今やらなければ、将来は無いと頑張り張っている。しかし市民の中には、当初より少なくなっているが子育て支援に3億円は使い過ぎ、財政面で事業が続くのが不安視する声もあるという。私は子育てお金を使うのは何よりも大事だと思う。 本市の立ち遅れが心配である。
その他	

令和 年 月 日

南陽市議会議長 高橋 弘 殿

会派会長

印

令和 年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第4条の規定により報告いたします。

項目	調査・研修内容
調査期日	令和 年 月 日()から 日()まで 泊 日
調査場所	②兵庫県三木市議会
調査目的	
調査概要	② 縁結び課の設立は、平成26年4月、当初は2人でスタート28年に拡充、現在は5人、業務は(1)縁結び事業(2)移住定住促進事業(3)ふたご納税事業(返礼品を通じ市内中小企業の活性化若い人の働く場所の確保等)(4)空家対策、出会い、住居、働く場所、出産、子育て、定住まで、切れ目の無い支援を実施。(1)の縁結び事業では、みきで愛サポートセンターが独身男女の出会いの場を創出、サポタ(お仲間みたいなもの)男11人、女17人のおせっかいおじさん、おばさんがボランティアで頑張り張っている。単なるマッチングだけでなく第2の親的存在として、長期的にサポート。色々な相談にもものっているとの事。サポートセンターは、現在縁結課内であるが、10年前から活動しており、104組が成婚、現在も多くのカップルが出来ているとの事。単年度予算で1億6千4百万と先を見ずえた、素晴らしい課であると感じました。
その他	